

第3 水質関係異常事故

環境対策課において令和5年度に把握した区内の魚へい死・油流出等の水質関係異常事故発生件数は、表1のとおりであった。また、過去5年間の事故一覧を表2に示す。

表1 令和5年度水質関係異常事故一覧

年月日	種別	水域	地点	状況	調査結果等
R5. 5. 17 ～ R5. 5. 22	魚のへい死	呑川	馬引橋 [西蒲田四丁目]	5 cm未満のボラ稚魚が 5. 17 に約 10000 匹、5. 18 に約 3000 匹、5. 19 に数千匹、へい死。	簡易水質検査を実施。有害物質等（遊離シアン、六価クロム）検出せず。5. 13～5. 15 の降雨による越流及び水質変化の影響と推定した。
R5. 9. 18	魚のへい死	内川	三ツ木橋～新田橋 [大森西四丁目]	ハゼが約 300 匹へい死。	簡易水質検査でアンモニア性窒素、亜硝酸性窒素、COD が検出された。遊離シアン、総残留塩素、六価クロムは検出されなかった。9. 15 に強い降雨があり、大量の雨水（真水）が流入したことで、塩分差に耐えられずへい死したものと推定した。
R5. 9. 20	泡流出 ・異臭	京浜 運河	京和橋 （昭和島側） [昭和島二丁目]	下水道の圧送管が壊れ、下水が流出した。	簡易水質検査を2地点で実施。共に同じ結果（COD、亜硝酸性窒素、アンモニア性窒素は上限超え、残留塩素は不検出）であった。

表2 過去5年間の水質関係異常事故件数

			多摩川		丸子川		海老取川		呑川		内川		池等		運河内湾等	
令和 元 年度	総 数	魚へい死		0		0		0		3		0		1		0
		油流出	0	0	0	0	0	0	4	1	0	0	1	0	0	0
		その他		0		0		0		0		0		0		0
令和 2 年度	総 数	魚へい死		0		0		0		2		0		0		0
		油流出	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
		その他		0		0		0		0		0		0		0
令和 3 年度	総 数	魚へい死		0		0		0		3		1		0		0
		油流出	1	1※	3	1※	0	0	5	2	1	0	1	1	0	0
		その他		0		2		0		0		0		0		0
令和 4 年度	総 数	魚へい死		0		0		0		5		0		0		0
		油流出	1	1	1	0	1	1	5	0	1	0	0	0	0	0
		その他		0		1		0		0		1		0		0
令和 5 年度	総 数	魚へい死		0		0		0		1		1		0		0
		油流出	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0
		その他		0		0		0		0		0		0		1

※ 多摩川の1件と丸子川の1件は同一案件